

\*\*\*\* 木材団地ニュース \*\*\*\*  
あたらしき大地 1999.10  
Vol.82

大阪木材工場団地協同組合  
Homepage Address <http://www.wood.co.jp/dream/>

夢と調和の発信基地



紅葉一樹（静岡県天竜市）  
津田洋甫写真集「一期一会」より

第六回  
例話について  
オウム

ヒマラヤ山の谷間に流れているガンガー川の岸に、美しいウドンバラの森があって、沢山のオウムが住んでいました。  
オウムたちはウドンバラの実を食べガンガー川の水を飲んで暮らしていました。そして実が無くなるとほかに飛んでいってべつの実をみつけて食べました。その中で、一羽のオウムだけはいつでもそこにとどまっていた、実がないときには木の葉や皮を食べてすごしていました。  
このオウムはどんなものでも与えられたもので満足していたのです。そして森の中の一本一本の木を友達だと思っていたのです。  
ある日、天の神様がその心を試そうと思われて、森の中の木をみんな枯らしてしまいました。  
するとほかのオウムはみんなどこかへ飛んでいってしまいましたが、そのオウムは、やっぱりそこにとどまっていた、枯れた木からこぼれおちる粉などを食べて、命をつないでいました。  
神様はガチョウの姿になってやってきました。  
「オウムさん。木が枯れてほかのものはみんな行ってしまったのに、あなたはどのようにしてここにいますか」  
「この木は私の友達です。友達というものは楽しい時も苦しい時もいっしょにいるものです。苦しい時がきたからといって捨てていくような事はしません」  
「そうですか。それは大変感心なお心です。ごほうびに何でもほしいものをあげましょう」  
「何もごほうびはいりません。でもこの森が前のようにになったら、どんなにありがたいことでしょう」  
「では、そうしてあげましょう」  
ガチョウがそういったかと思うと、もう神様になっていました。神様はガンガー川の水をすくって、枯れた森の上に振り掛けました。すると見ている間にそれが生き返って、青々と葉がしげり、花が咲いて実がいっぱいになりました。

(インドのジャータカ物語より)

- \* 真正の友情は不朽なり。
- \* 順境は友を作り、逆境は友を試む。
- \* 友の為に苦しむ事は友情を倍にする。

クボタ精機(株) 小沢敏明

目次

例話について	1	女性スタッフ紹介	7
特集 地元の大学	2	味の散歩	7
お知らせコーナー	3~5	パズル	8
林災協ニュースより	5	編集後記	8
樹木世間断	6	自然環境シリーズ	9
異常なる世界への誘い	7		

# 地元の大学「南大阪大学」の紹介とお願い

## 「地域活性化に向けた産学連携の新しい方向」

—— 地域の発展と大学の関わり ——

### 【大学のプロフィール】

「南大阪大学」は、地元 美原町 平尾の丘陵に平成10年4月に誕生した新しい大学です。  
本学は、めまぐるしく変化する世界経済、それらと密接に関わる情報、また企業が求め必要とする技術や能力などが多岐にわたっている現在と将来を見据え、従来の・経済・経営・情報の3つの分野を融合させた新しい「経営学部」を実現し、真の実践力につながる創造性豊かな人材の育成を目指した4年制共学の大学です。  
カリキュラムは、経営学部経営情報学科のみの専修となっており、47名余の教授・助教授・講師陣が専門分野の教育を行なっております。  
特に情報教育分野では、最新のコンピューター技術も含め先端技術の応用、適応を目指した実践教育に取り組んでいます。

### 【地域との関わりと新たな研究テーマ】

本学では、新しい大学として将来の可能性と地域に密着した教育学府を目指すため、地元企業との関わりと連携が重要な課題と考えています。

新しい情報技術の進展は、自立的発展が叫ばれる地域社会におおきな影響を及ぼしています。創造性に満ちた豊かな地域を形成していくためには、多様な国際交流の推進、文化と産業の融合、新産業の創出などの積極的な展開が求められています。

特に、豊かな生活とそれを支える産業社会の形成には新しい情報技術の有効な活用が不可欠であり、そのため大学という知的財産を地域に解放し、創造的知識融合を促進するとともに、「産学連携」による新たなビジネスの芽を生きぶかせ育てることが重要になります。

このようなことから、本学では今後ますます重要になるであろう地域産業との関わりについて認識を深め、期待をもって有効な連携方策を探ることを、研究テーマとしています。



### ～ 研究の内容 ～

1. 地域産業の実態把握
2. 企業ニーズの調査と分析
3. 連携方策の検討
4. 課題とまとめ

### 【木材団地内企業の皆様にご案内とお願い】

本学では、上記のように地域の産業と密接に連携した真の「産学連携」をテーマとした研究を進めています。今回、大阪木材工場団地(協)広報誌「あたらしき大地」に寄稿させていただいたのもその一環と考えております。まず、企業の皆様方に地元美原町にある本学「南大阪大学」の存在と、すこしばかりの概要を知っていただくことから始めました。

今後は、私どもが皆様方企業のことを知りたく「地域産業の実態把握」のため、各種アンケート調査をさせていただくことを企画予定いたしております。

その節には、なにとぞご協力いただくようお願いいたします。

また、皆様方で本学にご関心などがありましたら、ご遠慮なくお越しいただければ結構です。

南河内郡美原町平尾1060番1「南大阪大学」  
TEL 0723-62-3731  
経営学部教授 寺本 光雄

Interest Life  
**Villegia**  
ヴィレジア・さむの

販売・修理・電気工事一式  
**サワノ電気**  
住所 美原町平尾463-1  
TEL 61-7155 FAX 61-5884

損害保険のことなら  
安心と安全の総合コンサルタント

住友海上火災保険(株)  
代理店 (株)大阪木材団地サービスへ  
美原町木材通4-1-1  
TEL 0723-61-2670

## お知らせコーナー

### 組合からの報告 事務局

#### オーストラリア木材関連ミッションとの交流

7月21日オーストラリア総領事館の斡旋により、オーストラリアクイーンズランド州の木材業者一行(12名)が当木材団地を訪問。

午前中は松本理事長をはじめ組合員企業(7社)との情報交換会を行ない、午後は団地内企業8社の見学交流を行なった。

#### 友好企業の会社名変更

団地内下記企業は、社名変更を行ないました。

旧事業所名	新事業所名	日付
モリ工業株式会社	モリ金属株式会社	7月1日付
美原工場	本社・美原工場	7月1日付
株式会社協進	株式会社ケー・エス・ケー	
大阪物流センター	大阪物流センター	10月1日付

#### 飛翔会が研修会を実施

<企業の「環境管理」についての研修>

去る7月28日午後6時より組合会館で、企業の「環境管理」に関する研修会を開催。

今回は、三和総合研究所「大阪本社、経営戦略部」の弓場雄一(ゆみばゆういち)氏を講師に招き、「「環境」配慮から「環境」戦略へ!~ISO 14001取得を目指して~」というテーマの講演のあと質疑応答が行われ、企業と「環境管理」の潮流と今後のあり方を学習した。

<トヨタ自動車の工場見学を実施>

去る9月3日・4日、愛知県・三重県方面への研修旅行を実施。

今回の研修メインは、「人と地球にやさしい車づくり」を謳う、トヨタ自動車(田原工場:愛知県渥美郡)の工場見学で、世界の最先端をいく生産技術と「企業と環境」「自動車と環境」等の問題についての同社の取り組み姿勢を学習した。

#### 受賞のご披露

松本正剛氏  
林野庁長官賞(木材産業功労) 10月14日付  
大阪木材工場団地(協)理事長 (株)鯉丸 会長

#### 中堅・幹部社員研修のフォローアップ講座を実施

教育研修委員会主催の中堅・幹部社員研修は、6月から7月にかけて4回シリーズで行われたが、そのフォローアップ講座が、8月6日・7日・8日の2泊3日の日程で、兵庫県竹野方面で実施(組合員14社、参加者20名)された。

受講者は、素晴らしい自然環境のもと「自己変革」に向け、最後のカリキュラムを熱心に取り組んだ。

#### インターネットセミナー開催

9月10日(金)組合会館会議室で、堺地区電信電話ユーザ協会と共催でインターネットセミナーが開催され、組合員企業、友好企業から22名が参加した。

セミナーは、午前中は「インターネット導入から基本操作まで」と題してインターネットの基本操作を午後からは「簡単ホームページの作成など」と題してホームページの作成について各々の研修が行われた。

#### 新入社員研修フォローアップの開催

4月4日~8日に行なわれた新入社員研修会のフォローアップ研修が7月23日(金)に(株)グルメ軒屋 ログハウス研修場において行なわれた。

研修生は、3ヶ月ぶりの再会ということもあってそれぞれに思い出話に花が咲き、またフォローアップを受ける事により、忘れていたこともよみがえり、身心のリフレッシュができたよう。

#### 組合員企業の合併

組合員 共立木材(株)は、阪神合板(株)と10月1日付で合併し、新しくイヌイ建材(株)(資本金1千万円、代表者:奥谷哲夫氏)と改称し営業。

#### 集団健康診断の開催

恒例となっている協同組合主催の集団健康診断を、「桂クリニック」が実行主体となり、7月28日(火)・29日(水)の両日「ウッドリム大阪」研修室において実施した。

## お知らせコーナー

### 組合からの報告 ウッドリム

#### 親子木工教室開催

「ウッドリム大阪」8月事業として、DIYアドバイザー出口 守氏を講師に招き夏休み恒例の親子木工教室が8月18日(水)に行なわれた。

#### 9/25・26木のふれあいツアー

木のふれあいサークル「ウッドリム友の会」恒例の「木のふれあいツアー」が、9月25日(土)・26日(日)の両日に「能登路木のふれあいツアー」と題して行なわれ、38名が参加した。

今回も昨年同様、設計士 熊谷 勝さんの案内で、日本で最も美しい総うるし塗りの輪島町家「塗師の家」(ぬしのいえ)、熊谷先生の設計による能登を意識した数奇屋造りの家「山本邸」などを見学した。

### 組合からの報告 木栄会

#### 副理事長との懇談会

9月28日(火) 当会9月度『情報・研修委員会』事業として、成瀬 孝副理事長(みどりハウジング(株)社長)を囲んでの懇談会が開催され、30名が参加した。

第1部では、『川下から見た住宅産業』と題して、最近の住宅産業の動向についての講話を聞き、第2部では、形式にとらわれずビールを飲みながらザックバランに語り合った。

#### 優勝 成瀬特殊木材株式会社



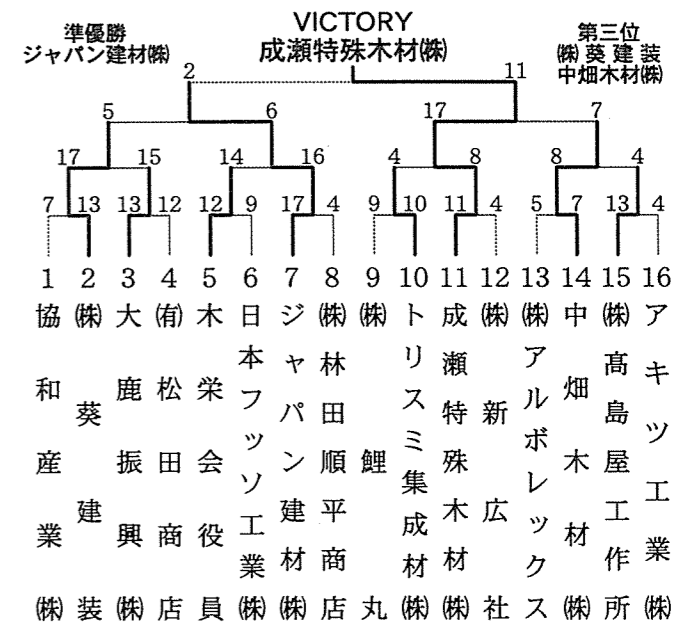
### 親睦ソフトボール大会開催

8月22日(日)・29日(日)、美原町内みの池グラウンドで、当会8月度事業として、美原町ソフトボール連盟の主管で親睦ソフトボール大会が開催され、16チームが参加した。

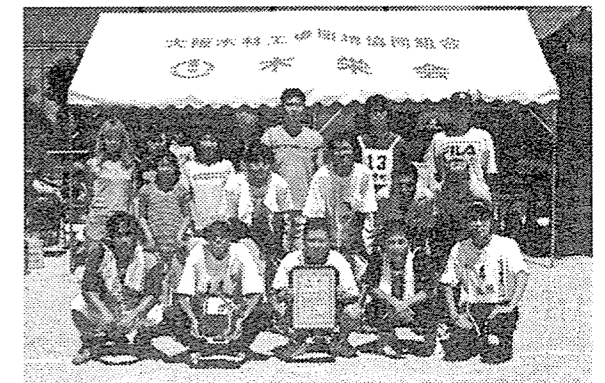
大会は、2日間共天候に恵まれ、好プレーと珍プレーが飛び交う中、熱戦が繰り広げられ、成瀬特殊木材(株)が優勝した。

なお、全試合の結果は次のとおりです。

#### ソフトボール大会トーナメント表



#### 準優勝 ジャパン建材株式会社



贈ってよろこばれ。使ってよろこばれる。  
小山園で初めて知ったお茶の味。

### お茶は心のふる里

静岡銘茶 小山園 藤井寺営業所  
藤井寺市道明寺1-7-19 TEL 0729-55-4920  
FAX 0729-55-4920

看板・ネオン・塗装工事

### 立体広告

美原町黒山・0723-61-3360

DAIHS  
COFFEE SERVICE

OCS 堺  
0722-57-2023

使い方カンタンなコーヒーメーカーを始め必要な備品はすべて無料で。あとは4週間に1度、フレッシュなレギュラーコーヒーをお届けします。

### 警備体制は万全ですか?

東洋テックは大阪木材工場団地内で多数の企業様に「TECアラートシステム」による安全で確実な警備を提供しています。

お問い合わせは……

東洋テック(株)堺支店 TEL 0722-21-0753まで

## お知らせコーナー

### 組合からの情報 木栄会

#### 親睦スキーツアーのご案内

当会、平成12年2月度事業として、恒例の親睦スキーツアーを予定いたしております。

記

とき 平成12年2月25日(金)～27日(日)  
行き先 鷺ヶ岳スキー場(岐阜県)  
宿泊先 鷺ヶ岳高原ホテル・レインボー  
追って、詳細は後日ご案内いたします。

### 組合からの情報 美原団地協議会

#### 美原団地協議会事業予定

記

11月16日(火) 税完納推進活動事業  
10月 8日(金) ゴミ0の日  
11月～12月 消火器の共同購入  
12月下旬 火災予防講習会  
追って、詳細は後日ご案内いたします。

### 組合からの情報 事務局

#### 団地まつりの開催

第15回木材団地まつりを10月30日(土)31日(日)両日にわたり、「メッセ美原」会場にて開催いたします。

今年は従来の催しの他に、第15回記念イベントとしてオークション、ガーデニング教室、フリースロー大会の実施を予定しています。

皆様お誘い合わせの上、是非ご来場下さいますようお願いいたします。

#### 全員例会の開催案内

今年度の協同組合全員例会は、その行き先を静岡県浜松方面とし、11月7日(日)・8日(月)の一泊二日の日程で開催いたします。

## ● 林災協ニュースより ●

### ◆ 交通労働災害の防止について

交通事故による死亡労働災害は全死亡労働災害の約30%を占め、この数年来減少していません。

これは交通事故一般の傾向を反映したのですが、交通事故による労働災害は陸上貨物運送業のみならず、木材・木製品製造業を含め幅広い業種で発生しており、労働災害を減らすには何としても交通事故を減らさなければならない重要な課題となっております。

事故防止は適切な走行計画の決定と的確な走行管理等一般の労働災害と同様に取り組み運転者の注意を喚起する必要があります。

各職場において引き続き交通災害防止のお取り組みをお願い致します。

### ◆ はい作業主任者技能講習のお知らせ

労働安全衛生法第14条の規定により、高さが2メートル以上のはい(倉庫、土屋又は土場に積み重ねられた荷)のはい付け又ははいくずしの作業を行なう事業場は、技能講習を終了した者のうちから、はい作業主任者を選任し、その者にはい作業に従事する労働者の指揮その他労働省令で定める事項を行わせなければならない旨定められています。

この技能講習を下記のとおり開催いたしますので、この機会に受講されますようご案内いたします。

記

- 開催日時 平成11年11月8日(月)・9日(火) 午前9時より
- 開催場所 大阪木材仲買協同組合
- お問い合わせ 林業労働災害防止協会 大阪支部  
TEL/FAX 06-6541-1472

## 樹木世間噺

### 第13話「片棒」

稲垣 實

ここに登場する赤西屋各兵衛(けちべえ)さんの屋号と、巻き貝の一種の「赤螺(あかにし)」は、語呂が相通ずるところに、俗人界と深いかわりがある。

というのは、江戸ではケチやシブチンをつかまえて「あいつはケチだ。アカニシ野郎だ」という。

理由は、赤螺は字のごとく殻の口が赤く、外敵予防のため、いったん殻の蓋を閉じると容易に開かないのである。

その様は俗人が小銭を懐に仕舞い込むと出し惜しみ根性が出て、なかなか手放さないところが似たという。また金を握った拳の形が、殻の姿そっくりだったのも一つの要因かも。

さて、各兵衛さんは若いころから商才にたけた反面、日常の諸事万端は爪に灯を灯すような暮らしをし、三度の食事粗食に甘んじ、ぜいたくは敵だを心の糧として働き、そのお陰で儲けは儲けを呼び、ついに莫大な資産と膨らんだのである。

ところが各兵衛さん。頭髪に白髪をいただく昨今となり、わしが死んだら三人の息子らは、この店と財産をどうやって守ってゆくやら、それが心配の種となっていた。

まして息子らは苦勞知らずのボンボン育ちだから、さら頭痛が募るである。

ある日、長男の金之助、次男の銀次郎、三男の鉄蔵を呼び「いま仮に、わしが死んだとすると、どのような葬式を出すか、それをお前から聞いておきたいのや。まず、長男の金之助、お前からいうてみな」「へえ、それでは…へえ。店の格がありますから、本葬は後日盛大にやるとしまして、その本葬の式場は天王寺さんの本堂をお借りするとして、そこに、うちの定紋入りの座布団を三千枚ほど誂えます。それから、ちょうど昼時分になりますので、ご会葬の皆様、うちの定紋を散りばめました黒塗りに金時絵の三つ組のお重を準備します。般若湯も用意します。さらにお車代として金一封を…。かように思うのでございます。それに関係者は揃いの印半纏(しるしばんてん)を着込みまして…」

「おいこら、待ってくれ。なんやと。わしが食う物も食わんと貯めた金や。それをむさんここに葬式に使うてどうするんや。この大馬鹿者め。次ぎ!銀次郎、お前はどうか」

「へえ…本葬は故人の遺徳を偲んで陽気にやりたいと思うております。店の前は紅白の幔幕を張り、南の芸妓衆を呼んで宝恵駕を仕立てます。そのあとに繰り出すのは、新町と曾根崎の綺麗どころで、阿波踊りと高知の鳴子踊りをやってもらいます。で、それに続いて霊柩車の代わりに山車(だし)が引かれます」

「山車が来るう?」「四つ角まで来ますと、親戚の総代が弔文を読み上げるのです。『弔辞。それ、つらつらおもみみるに、生者必滅会者定離とはいい条、だれか天寿の長からんことをこいねがいまするや。ここに、赤西屋各兵衛君、生来から勤儉を旨に、平素は粗食に甘んじ、ただただ蓄財の増加を唯一の楽しみとしておられしが、栄養不良の結果、不幸、病魔の冒すところとなり、神授六十有五年にして、ついに帰らぬ人になる。嗚呼、人生おもしろきかな。また、愉快なり』と」「馬鹿もん! 何が愉快や。不愉快になるわい。あっちへ行け。あきれた奴だ。まるで祭り騒ぎではないか。おい鉄蔵! お前はどうか」

「へえ、ホクは、兄ちゃんとは考えは別です。おとつあん、人間は死んだら仕舞いです。どんな人でも焼かれて灰になるとそれまでです。見栄の張る葬式は世間様には受けるかも知れませんが、死に金になります。極く始末するのですしたら、遺体を野ざらしにする風葬もあります。何時かは鳥が来てきれいさっぱりしてくれます。まあそんなことは別として、おとつあんの出棺を正午と発表しといて、その朝になって九時に変更するのです。たいがいの人は間に合わないでしょう。そしたら山菓子代が助かります。それから棺桶ですけど、あれこそ焼いたら仕舞いです。それやったら物置にある漬物樽の古いのを利用してはどうです。蓋の上から十文字にした荒縄に、天平棒を通して担ぐのです。それで人を頼めば銭が要りません。そこでボクが前を担ぎます。ところが、うしろの担ぎ手は誰もおらんのです」

「心配すんな。わしが桶から出て担ぐさかい」。

今回は【あたま山】を。

### 土木工事・建築工事一式

団地内企業で迅速な対応

美原町木材通4丁目16番1号  
☎ 0723-62-2221

松川組



株式会社 オクピラ

木材団地前 ☎62-5063

新たなる旅立ち

まあ毎日、色々な事が起こる現象面だけを捉えると、出来事の単なる羅列にすぎない様にみえる。一般的に人は、離れ孤島の様な処で一人っ切りで生活している以外、何等かの形で人と接し、その集合体である社会と係わっていて、東西を問わず、世の出来事が五感を通して我が身に振り掛っていて、少なからず影響を受けている。

我々は、基本的判断基準の一つである“好む”又は“好まざる”かに因り、諸々の出来事を主観的に意識したり、又は反対に意識外へ捨て置く場合がある。

それは、各々の主観的価値判断に因る訳だが、世の出来事自体、その様な人各々の主観的判断などに左右されず、人が好むと好まざるに拘らず、次々と新たな現象、事件等を生じている。

そこで異常なる世界への誘い（新たなる旅立ち編）として、今回から偶発的出来事の異常なる観点をテーマとする。

具体的に記すと、恰も無機的な点描写の様な出来事を、敢えて有機的に線で結ぶならばとして考える事である。

但し、天変地異等自然現象は、このテーマには、馴みにくいと基本的に考える。例外もあるが…

メインテーマ

- ◎ 主観的判断による因る偶発的事実の捏造
- ◎ 偶発の必然性

この様な観点で世のできごとを結び付けて行くと意外な結論が出て来る事となろう。このテーマを進めて行くに、前提として偶発的事実の捏造者は誰か？又、誰が偶発的事実の必然性を求めるかを一度考えてみよう。

異常なる世界への誘い（異常なる出来事遊び）次回へ

女性スタッフ紹介

会社名 三和ニューマルチ(株)

氏名 青谷奈美子さん

趣味  
ギターの弾き語り

行ってみたい所  
ブラジル

住まい  
堺市立福田小学校のそば

生年月日  
昭和50年3月2日

好きな食べ物  
カツ丼

好きな言葉  
いい湯だな～♪

一言

入社してとうとう5年目に突入してところですが、時の経つのが早いのに驚いています。まだまだ皆さんに迷惑をかけている私ですが、頑張りますのでよろしくお願ひします。

ちゃんこ鍋  
大いちょう

今回は、お相撲さんがよく食べる「ちゃんこ鍋」の『大いちょう』をご紹介します。にら・もやし・白菜・鶏肉・豚肉・つくねetcに最後に入れるお餅・ラーメンまで、とにかくボリューム満点、栄養満点、その上値段もお手頃で、食欲の秋に最高です。さあ、あなたも力士気分でチャレンジしてみては！

住所 大阪狭山市大野台1-23-12  
電話 0723-67-0399  
営業時間 PM5:00~PM9:00  
(ラストオーダー)

定休日 月曜日(祝祭日は除く)  
駐車場 完備  
座敷き 2~30名  
お値段 一人前 2,500円

又、富田林周辺には、向陽台小学校前に2号店(電話0721-29-2009)も有ります。

味の散歩

PUZZLE No.58

★問題★

リストの数字をマスの中にうめていく、ナンバースケルトンです。数字はヨコ方向は左から右へ、タテ方向は上から下へ、埋め込んでいきます。最後に4ケタ数字を完成させてください。

答 

A	B	C	D
---	---	---	---

★応募方法★

パズルNo.58の答えと会社名、氏名を明記して、組合事務局編集部へご回報下さい。解答1枚につき1名様。FAX可(0723-61-0629)

★賞品★

正解者の中から抽選で5名の方に賞品としてテレホンカードを差し上げます。

★締め切り★

平成11年11月末日

★当選者発表★

あたらしき大地83号誌上(平成12年1月発刊予定)

パズル No.57

正解と当選者発表(敬称略)

当選者

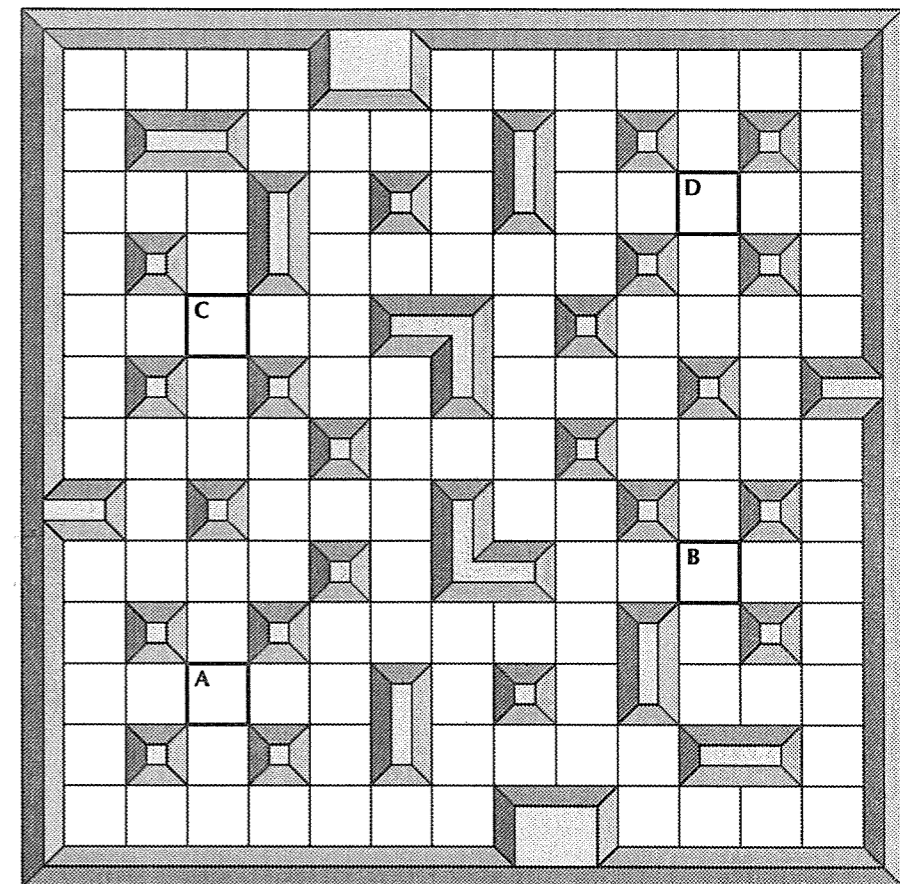
- ◆岡 玲子 トリスミ集成材(株)
- ◆岡田健一郎 (株)林田順平商店
- ◆小杉里絵 丸八木材(株)
- ◆植野栄子 (株)協同
- ◆日田由以子 日本スリット工業(株)

前回解答

A	3	B	2	C	2	D	2
---	---	---	---	---	---	---	---

表紙写真作者の紹介

日本写真家協会会員  
日本写真芸術学会会員  
ツダヨウホ  
津田洋甫先生  
大阪市内在住



2P	825	7631	58726
16	859	8476	63519
52	4P	5P	93641
63	1293	12945	93724
94	2519	18692	94675
3P	2751	26781	94756
146	3428	27548	7P
471	4381	37156	2968157
492	4681	38215	3496571
628	4692	45327	7543268
634	5896	46713	8263419
697	6152	47983	
817	6324	53917	

- ◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆
- ◆ 今回号本紙にある地元の大学「南大阪大学」を見学取材してまいりました。
- ◆ 羽曳野丘陵の中にある、とても自然に溶け込んだ新しい大学です。
- ◆ 最新のコンピューター設備や各種付帯施設が完備され、これからの情報社会と環境との共生を考えた先進的な大学だと感じました。
- ◆ 大学では、これからの当団地との関わりと友好を期待されています。
- ◆ 会社のPR、個人情報なんでも結構ですので、どんどん情報をお寄せ下さい。お待ちしております。

FAX 0723-61-0629 担当：和久田まで

# 自然環境シリーズNo.1 「ビオトープ事業」をめざす羽曳野市

水辺環境の悪化で水生生物がその姿を消しつつあります。原因は環境の保全を忘れ、利便性を追求した開発の影響です。本年7月羽曳野市では住民と行政のパートナーシップにより「羽曳が丘トンボ池」が完成しました。トンボ・メダカ・水生植物などの生息を調査観察しています。今後は羽曳野丘陵にビオトープゾーンをつくるのが目的とのことです。山口県では絶滅危惧されている「サギソウ」をバイオで育てて野山へ戻す運動が始まりました。

このような自然生態系の保全・復元・創出するシステムが「ビオトープ」です。ビオトープはトンボや植物を育てて単に鑑賞するのではなく、地域全体の生態系を保全・復元・創出につなげていくものです。そのためには10年・50年・100年先を見つめて取り組みましょう。私たちの地域でもビオトープ事業を実現しましょう。

## 羽曳が丘トンボ池

羽曳野市羽曳が丘3丁目-9の東公園に隣接  
4~10月第2・4土曜PM 1:00~PM 4:00解放



## トンボやメダカと親しむ水辺づくり

ビオトープとは  
ドイツ語のBio (生き物) と  
Top (場所) の合成語で生き  
物の生息空間を意味します。

### 自然環境情報を募集

本誌では今後「自然環境シリーズ」を掲載します。このページは皆様からの自然環境に関する情報を中心に掲載します。情報提供の方は編集委員会にご参加頂き面談協議して記事を編集します。文書・写真などでどしどし情報を提供して下さい。

連絡先 事務局 和久田 TEL 61-0629